

## 病棟紹介

### 7階西病棟

7階西病棟は、循環器内科の病棟です。一番の特徴は、**CCU(2床)**を備えているところです。緊急事態が発生したら直ちに除細動や人工ペースメーカー挿管などの蘇生を行うほか、循環動態保持や全身管理を目的として、IABP PCPS CHDFなどの高度な機器も稼働させます。緊急入院が多い病棟です。

最近では20歳代から30歳代で心筋梗塞を起こしている人も増加しています。高齢で入退院を繰り返す患者さんも多く、忙しい病棟ですが、スタッフは協力しながら頑張っています。



【個室からの眺めは最高です！】

【CCU】



【7階西病棟スタッフ】

### 7階東病棟

7階東病棟は主に、呼吸器・消化器・血液疾患をもった患者さんが入院する内科病棟です。入院ベッド数は49床で、化学療法や放射線療法、内視鏡的治療で入院される患者さんが多くいらっしゃいます。スタッフは、須山副院長、山川内科主任診療部長を中心に7人の医師と、師長、副師長を含む看護師23人、Drクラーク、ナースエイドです。

専門的な治療を受ける患者さんに常に安全でスムーズな治療がおこなわれるように、主治医と受け持ち看護師を中心に、他職種とのサポート体制をとっています。特に、**がんによる痛み(がん性疼痛)**や**病気に対する不安**については、院内の緩和ケアチームと連携をとり、患者さんの苦痛の緩和に努めています。また、在宅療養を希望される患者さんには、地域医療連携室と協力して多職種でカンファレンスを行い、患者さんのニーズに合わせて在宅へ移行できるように支援しています。

多忙ではありますが、患者さんの笑顔を励みに、スタッフ一同安全でよりよい医療・看護の提供に努めています。



【回診の様子】



【7階東病棟スタッフ】



次号は、耳鼻いんこう科と、6階西病棟、6階東病棟の紹介です！お楽しみに！



# 医学物理士の誕生

## 皆さん、医学物理士という存在をご存知でしょうか？

今回は、市民病院にとっては是非必要な認定資格に合格した2人と認定の意義を紹介したいと思います。ほとんどの方々がご存知でない認定資格だと思えます。まずは仕事の内容(定義をお知らせしたいと思います)。

医学物理士とは、主に放射線治療分野において、医師と連携を取り治療計画の適正化を行い診療放射線技師、また、その他の医療職と協力し、**治療計画の品質管理・保証**を行う。また**医学物理学的研究開発**を行う。さらに患者体内での吸収線量が臨床上必要な範囲に収まっていることを確認し、**医師の処方通り治療が行われていることを担保する**。となっています(日本医

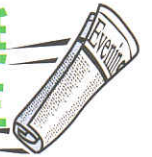
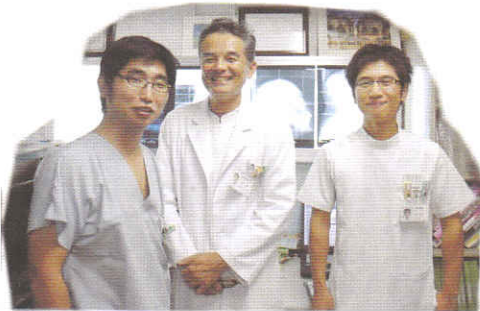
執筆者：放射線部係長

林田 義彦 (中央)

医学物理士(診療放射線技師)：

中村 亮 (右)

時田 善博 (左)



学物理士会より抜粋)。現在全国に約550人の医学物理士がいますが、70%が診療放射線技師です(30%は理工系の方々)。国の指針では近い将来地域がん診療連携拠点病院では医学物理士の存在は必須となるようです。各県での基準は違いますが、長崎県では国よりも厳しく、必須条件になっております。

ところで、日本におけるがん患者に対する放射線治療の割合は約20%、アメリカにおいては40%にもなる事が分かっており、日本人の高齢化を考えると見ますと、将来がん患者はかなりの増加し放射線治療を行う確率は今の3〜4倍以上になると言われており、施設・マンパワー共にかなり不足することは以前より危惧されています。

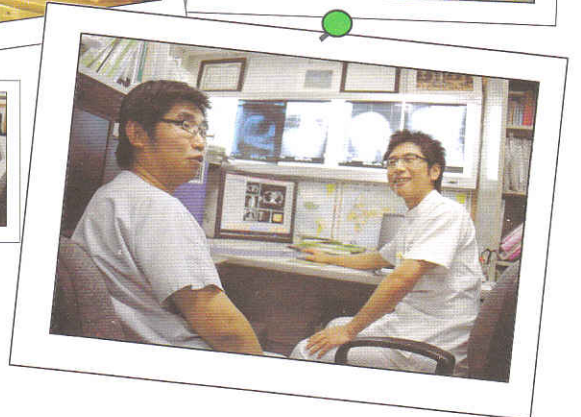
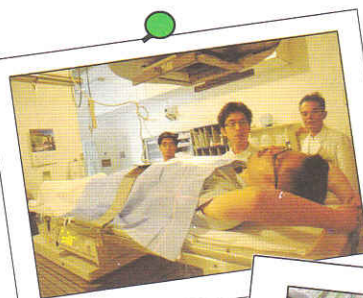
今回紹介する時田善博、中村亮の両名は決して若くはありませんが、見事に合格する事ができました(1施設で同時2人合格は当院のみ)。2人の努力は並大抵ではなかったはず。

新病院では最新鋭の治療機器が設置され、放射線治療専門医(南医長)をはじめ多種にわたる認定を持つ集団の中で素晴らしい放射線治療が始まる事でしょう。

がんの特効薬はまだ50〜100年後とも言われており、暫くの間は放射線治療で非侵襲性かつ最新鋭の機器と素晴らしいマンパワーで高い治療率を目指す事になるでしょう。

放射線部係長 林田 義彦

放射線技師としての通常業務から、治療計画の適正化など業務はさまざまです。



新しく病院紹介の新聞コーナーを開設しました！  
 毎号、当院のさまざまなニュースをお知らせします。  
 HOT STUFF：“特に優れた人(物)”、“元気者”

# HOT STUFF



## 認定看護師続出！



当院には現在、3人の認定看護師が在職しており、緩和ケア認定看護師の紹介はおらんだ坂25号に掲載しました。そこで、今回は残りの2人の認定看護師につきまして、ご紹介いたします。

なお、現在、糖尿病看護認定看護師及び救急看護認定看護師を目指して2人が研修中です。



外科外来

皮膚・排泄ケア認定看護師

森 智美

血液型：小坂さんと一緒のO型  
 趣味：最近は全然行けていない  
 ツーリング

**皆**さん、こんにちは。外科外来に所属する森と言います。私は、2008年に

福岡県看護協会看護専門教育センターでの教育課程を修了し、昨年、無事皮膚・排泄ケア認定看護師として認定されました。認定看護師教育課程の受講のきっかけは、内科病棟勤務のち外科病棟へ異動となり、あるストーマ造設術を受けられた患者さんとの関わりからこの分野に興味をもったことでした。

「皮膚・排泄ケア」と聞いて、ピンとこない方も多いと思います。皮膚・排泄ケア認定看護師は、Wound (創傷) Ostomy (スト

マ・瘻孔) Continence (失禁ケア) の3領域を専門とする看護師です。現在、外科外来での勤務を行いながら、第2・4水曜日の午前中は、外科・泌尿器系ストーマ外来を行っています。何かお困りのことがあれば、まずお電話下さい。また、便・尿失禁に関する皮膚トラブルの予防対策、褥瘡予防対策の活動を中心に、各部署の褥瘡リンクナースや褥瘡対策チームメンバーと連携を取りながら院内の褥瘡予防・治療ケアに取り組んでいます。皮膚や排泄に関わるケアは、日常生活を送る中で看護の基本となります。予防・治療ケアを通して、患者の皆様が入院から在宅に至るまで安心して快適な生活が送れるよう支援していきたいと思っています。



外来化学療法室

がん化学療法看護認定看護師

小坂 幹子

血液型：O型でおうし座  
 趣味：最近は全然行けていない  
 温泉旅行

**8**月から外来化学療法室に勤務しています。看護士の小坂です。私は2009年に、久留米大学認定看護師教育センターの教育課程で学び、今年7月にがん化学療法看護認定看護師の資格を取得しました。認定看護師には現在、21の分野があります。私の専門分野はよく「化学療法の」とか「化療の」とか「ケモ

ナース」などと呼ばれることが多いですが、正式な名称は「がん化学療法看護」で、最後に「看護」とついているのがポイントだと思っています。

がん化学療法を受ける患者さんは、がんの告知や予後への不安による精神的苦痛、疾患や副作用による身体的な苦痛、経済的な負担、そして時には「なぜ自分が？」という苦悩を抱えて、長い治療期間を過ごしておられます。

「がん化学療法看護」は、看護師が抗がん剤の投与に携わり、直接治療に関わるといって、がん看護の中でも特異な分野ですが、単なる安全・確実な投薬管理だけではなく、治療の初期段階からトータルペインを抱える患者さんに寄り添う看護でもあります。

私は、この時期の患者さんの苦痛を気遣い、担い、気持ちに寄り添うことは、がん対策基本法で謳われている「早期からの緩和ケア」の実践でもあると思います、この分野での認定看護師をめざしました。資格取得1年目でまだ駆け出しではありますが、まずは配属されたばかりの外来化学療法室での看護を主として、今後は病院全体での化学療法に関する取り組みや、各部署での化学療法看護への取り組みなど、活動の場を広げていきたいと考えています。



いこいの広場のお花たち  
 ガザニア  
 花言葉：蜜月・きらびやか



# 地域医療 連携室便り

緩和ケアのグループ  
ワーク研修を開催。  
看護師の教育として  
大きな成果がありました。



2006年に成立したがん対策推進法、2007年よりOPTIM（地域緩和ケアプロジェクト）がスタートして3年目になります。当院の退院支援・調整もその影響を受け、入院時に病棟から地域医療連携室へスクリーニングシートを提出するところからスタートしています。取り組みから3年目に入り、病棟からのシートへのメッセージには、それぞれの看護師の思いを在宅の視点で記載されるようになり、記載内容もこの2年間で大きく変化してきました。地域医療連携室では1人ひとりのシートをアセスメントして退院支援・調整に関わりますが、1枚のシートが早急に介護保険申請を必要としたり、その患者さんの寝たきりのご家族の救急入院に繋がったり、と様々な事例を体験しました。スクリーニングシートは、患者さんにとって貴重であり、地域医療連携室にとっても欠かせないものとして院内に徐々に定着し、その成果が見え始めようとしています。在

宅の視点での看護師教育は、訪問看護師を病院に招いてのグループワーク研修が2度にわたって開催したのも大きな成長に繋がっていると考えます。

これらの顔の見える連携は、看護師間の連携として在宅へ向かう患者さんに繋がっています。患者さん、ご家族の一番身近にいる我々看護師は、患者さんが「今、どうしてほしいと思っておられるのか？これからをどこで療養したいと希望されているのか？」の思いを聞き、希望に沿った支援に繋がりたいと思います。病棟から受け継いだ大切な情報を、地域医療連携室では更にMSWと看護師間で協働して調整し、病診連携、訪問看護ステーション、介護事業所等、地域へ継続するケアとして繋がりたいと思います。

地域医療連携室

副主幹（看護師）小川 富美子



## いこいの広場のお花たち

ペチュニアの八重咲  
花言葉：心のやすらぎ

※5階のいこいの広場のお花たちは、ボランティアさんのご協力で綺麗に維持されています。



## 長崎市立市民病院

〒850-8555 長崎市新地町6-39  
TEL：095-822-3251  
FAX：095-826-8798  
HP <http://www.nmh.jp/shiby/>



長崎 市民病院

検索

まずはクリック♪

発行・編集  
市民病院広報委員会

広報委員長  
鈴木 伸